

根粒菌大調査 LEVEL 1 結果レポート

1. サンプルング地点の地図



- これまでにお申し込みのあったすべての地点を地図上に示しています。今回新たに解析データを報告する箇所については、圃場番号を記載しました。

2. 栽培履歴とダイズ根粒菌数

過去10年間の栽培履歴

ダイズ根粒菌の数
(土壌 1 gあたり)



- 栽培履歴については「作物」のみ示しました。同じ年に2種類以上の作物を育てた場合は複数の作物名を併記しました。
- ダイズ根粒菌の数はqPCR (定量PCR) 法で測定した*nodZ* 遺伝子のコピー数 (copies/g dry soil) を示しています。コピー数が検出限界 (約10,000 copies/g dry soil) を下回った場合は「**検出されず**」と表記しました。
- nodZ* 遺伝子は、根粒菌が分泌する根粒形成因子 (Nod因子) の合成に関与する遺伝子です。今回の分析ではダイズに共生する根粒菌由来の*nodZ* 遺伝子のみを対象としています。

この研究の目的は、**ダイズ根粒菌が少ない（＝ダイズのタネに付けた根粒菌がたくさん着く）土壌を見つけること。「検出されず」の土壌でN₂O削減根粒菌を使うと、たくさん根粒をつくってN₂O放出を減らせるかもしれません！**

このたびは実験にご協力ありがとうございました。
みなさんのお送りいただいた土の結果はどうでしたか？データの見方などわからない点があれば、お気軽にお問い合わせください。またのご参加をお待ちしております。
by Cool Earth ラボ事務局